

拠出金名: 日本・SAARC特別基金

国際機関等名	南アジア地域協力連合(SAARC) (英文名称・略称) South Asian Association for Regional Cooperation (SAARC)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	○その他○		
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南西アジア課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	784,000	7,063		1\$ = 111 円	(2006年) 100	100
平成17年度	0				(2005年)	
平成16年度	0				(2004年)	
*東アジア青少年交流基金への拠出金						
拠出上位5ヶ国			国際機関等の財政 (2005年度決算)			
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入	888,015ドル	
1位	日本	7,063	100	当該年度の支出	39,915ドル	
2位				次年度への繰越	780,458ドル	
3位				会計検査機関名		
4位				インド外務省		
5位				バングラデシュ会計検査官事務所		
上記の率及び順位は2007年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
我が国は、南アジア地域の安定と発展の枠組みを提供しうる機構としてSAARCを重要視しており、SAA RCの活動と基盤を強化するため、93年にはSAARC事務局内に「日本・SAARC特別基金」を設立した。2005年11月の第13回SAARC首脳会議での決定を受け、2007年4月の第14回首脳会議(デリー)への我が国のオブザーバー参加が要請された。これを受け、麻生外務大臣が当時同首脳会議に出席し、SAARCへの協力強化を表明するなど、SAARCとの実質的な協力の進展が進みつつある。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
本件基金の活用に関し、実施された案件のレビュー及び次年度に実施する事業案件の協議を行うことを目的として、日SAARC年次協議の枠組みが新たに設けられ、2007年1月に第1回の年次協議がネパールにて開催された。						
邦人職員数	0人	当該機関の職員数及び	30人			
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体にし	0%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。